

# 瀬野川水系における土砂災害対策の計画段階評価に関する有識者委員会

## ＜議事要旨＞

開催日：令和7年8月12日

- 瀬野川水系は重要なインフラが非常に集中しており、日本全体の物流、特に九州から関西、関東への物流の大動脈であるため、土砂災害発生時には広島県のみではなく日本全国への影響がある。
- 一般的に砂防堰堤等の規模が小さいと環境への影響も小さくなることから、既存の堰堤における除石等を見込んだ計画を検討し、環境に配慮しながら事業を実施していく必要がある。
- 土砂・洪水氾濫対策の検討・実施においては、砂防と河川それぞれの管理者が連携する仕組みづくりが必要である。
- 土砂災害防止、土砂堆積による河川の流下能力の低下、河川環境への影響の観点で、下流の河川へ流出する細粒分を含めた土砂の挙動を把握することは重要である。技術面・制度面での課題があるかもしれないが、本対策を機会に検討していくことが望ましい。
- 対応方針（原案）で示されている「砂防堰堤等による土砂流送制御を中心とした対策」は妥当であると考える。